冒頭、議長を大風薫会員に依頼することが全会一致で承認された。
出席者数　24 名

2025 年度　家族関係学部会　総会

(議事録概要版)

日　時：2025 年 10 月 11 日(土) 16 時 30 分～17 時 30 分

場所：静岡県立大学　小鹿キャンパス 講堂

2025 年度　家族関係学部会総会次第

１．開会

２．部会長挨拶

３．議長選出

４．議事

＜報告事項＞

1. 2024 年度事業報告および 2024 年度収支決算報告の役員会協議の結果（奥田）
2. 会費納入状況（森田）
3. 入退会の動向と会員区分（永田）
4. ニューズレター発行、HP 更新、メルマガ配信の状況について（中川）
5. 部会誌の編集について（中谷）
6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（永田）
7. 2025 年度（第 45 回）家族関係学セミナーについて（冬木）
8. 日韓学術交流について（奥田）
9. その他

＜協議事項＞

1. 入退会者の承認（永田）
2. 2026年度事業計画（案）について（奥田）【資料１】
3. 2026年度収支予算書（案）について（森田）【資料２】
4. 賛助会員の規約改正（案）について（奥田）【資料３（別紙)】
5. 2026年度（第46回）家族関係学セミナーについて（奥田）
6. その他

【報告事項】

1．2024年度事業報告および2024年度収支決算報告の役員会協議の結果（奥田）

2025年5月14日（水）に開催した役員会（オンライン開催）において、2024年度事業報告、2024年度収支決算について協議し、承認した。

→以上の報告があった。

2．会費納入状況（森田）

（1）2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日現在 会費納入必要会員数 156 名（名誉会員 7 名）

（2）会費未納者

3 年分の未納者 5 名・・・今年度未納の場合に除籍対象者

2 年分の未納者 11 名

1 年分の未納者名 30 名　（正会員 26 名、学生 4 名）

2024 年度未納者 61 名　（2024 年度会費の納付率 63.3%　昨年比 13.4%減）

2025 年度未納者 46 名　（2025 年度会費の納付率 70.5%　昨年比 7.2%増）

→以上の報告があった。

3．入退会の動向と会員区分（永田）

(1) 入会希望者　２名

(2) 退会者　１５名

①退会届提出者：９名

②除籍対象者：５名

③ご逝去による退会該当者：１名

(3) 会員数

2025年9月30日現在　１６３名（暫定会員含む）

※入退会承認後（2025年10月11日現在）１５８名（昨年度比　１０減）

→会費納入必要会員数　１５１名（名誉会員　７名）

(4) 会員区分

【会員区分内訳】（2025 年 10 月 11 日入退会承認後 158 名）

一般会員	１４０名
学生会員	１１名
名誉会員	７名

（参考　家政学会：会員　８０名、非会員　６９名、不明　９名）

→以上の報告があった。

4．ニューズレター発行、HP更新、メルマガ配信の状況について（中川）

(1) ニューズレターの発行　２回（メール配信）

2025年　2/21（169通）　7/10（160通）

(2) HP更新、メルマガ配信の状況

・HPの更新　６回

2024年　12/25　2025年　1/8、2/21、7/10、7/12、9/5

・メールマガジンの配信　３回（第31～33号）

2024年　12/20（168通）

2025年　6/9（163通）、9/8（161通）

→以上の報告があった。

5．部会誌の編集について（中谷）

(1) 第44号編集現況について、12月12日印刷完了・12月13日発行・12月19日発送（予定）

構成

特集　「人生をどう締めくくるのかー終活ブームの背景にある家族と社会の変化―」

論文　1本掲載予定（投稿6本）
政策動向　「ケアの社会化と家族介護者支援をめぐる政策動向」
文献紹介　4件
(2) 部会誌印刷・発送費について（確認中：参考までに43号の見積もりを掲載）
印刷費：No.43見積110頁想定　@210冊　296,100円（税込）
非会員贈呈用抜き刷り30部 3名分　16,020円（税込）
発送費：発送業務委託　31,214円（税込）
(3) J-Stageについて
現状では、27号～43号までを公開中
J-Stage参照　https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja

→以上の報告があった。(2)(3)について口頭にて追加報告があった。

(2) について、No.44の見積もりが口頭で報告された。
印刷費：No.44見積110頁想定　@210冊　260,400円（税込）
非会員贈呈用抜き刷り30部 3名分　10,680円（税込）
発送費：発送業務委託　39,140円（税込）

(3) について、今後著作権委譲についてホームページ等で依頼すること、オープンアクセス化の検討を進めていくことが口頭で報告された。

6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（永田）
・部会誌販売の状況（2024.10.8～2025.9.30）
販売：No.41（1冊）、No.43（1冊）　合計2冊
・部会誌の保管状況　合計360冊（9月30日現在）

30号	9
31号	8
32号	9
33号	6
34号	10
35号	10
36号	5
37号	31
38号	21
39号	53
40号	43
41号	49
42号	17
43号	6

→以上の報告があった。

7. 2025年度（第45回）家族関係学セミナーについて（冬木）
(1)　2025年10月11日（土）～12日（日）開催校：静岡県立大学小鹿キャンパス
(2)　シンポジウム「制度・政策と家族関係−いま、『親』とは何か・『子』とは何か−」
司会　山根　真理（神戸大学）・村田 晋太朗(三重大学)
報告１：親であること、親権者であること―2024年民法改正と「子の利益」―
犬伏 由子氏　(慶應義塾大学名誉教授)
報告２：現代家族と民法改正
関井 友子氏　(文教大学教授)
報告３：家庭養護における親子関係再構築の現状と課題―代替養育から共同養育への転換―
音山 裕宣氏　(静岡県立大学短期大学部准教授)

討論　：菊地　真理氏　(大阪産業大学教授)
(3)　活動助成
2025 年度日本家政学会活動助成金　50,000 円
使途：「公開シンポジウム」の講師謝金（家政学会非会員 2 名、会員 1 名）
2025 年度静岡県立大学研究集会助成金　88,000 円
使途：要旨集製本・印刷、学生アルバイト謝金
(4)　自由報告　2 分科会　合計 8 報告
→実行委員長冬木春子会員より、以上の報告があった。

8. 日韓学術交流について　（奥田）
2026年度のセミナーにて開催する。来年度は日本側が韓国からシンポジストを招聘する番であり、シンポジウムのテーマが決まり次第、韓国側の先生と協議を行う予定である。
→以上の報告があった。

9. その他
→特になかった。

【協議事項】

1. 入退会者の承認（永田）
→報告事項 3 の入退会者（審議対象者）について承認された。

2. 2026年度事業計画（案）について（奥田）【資料１】
→資料１のとおり承認された。

3. 2026年度収支予算書（案）について（森田）【資料２】
→資料２のとおり承認された。

4. 賛助会員の規約改正（案）について（奥田）【資料３】
→資料３のとおり承認された。

5. 2026 年度（第 46 回）家族関係学セミナーについて（奥田）
→東京家政大学の平野順子会員を実行委員長として2026年度開催されることが承認された。

6. その他
→特になかった。

【資料１】

2026 年度事業計画（案）

１．研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 公開シンポジウム

日程：未定

会場：東京家政大学

テーマ：制度・政策と家族関係　　シンポジスト：未定

(2) 研究発表会

日程：未定

会場：東京家政大学

２．部会誌の刊行

「家族関係学」No.45　2026 年 12 月 1 日刊行予定

３．部会誌の J-STAGE 公開

「家族関係学」No.45　バックナンバーの J-Stage 登載

４．研究及び調査の実施

実施せず

５．研究の奨励及び研究業績の表彰

実施せず

６．海外学術交流の実施

日韓学術交流を 2026 年度家族関係学セミナーのなかで実施する

７．その他、目的を達成するために必要な事業

(1) ニューズレターの発行　2 回

(2) ホームページの管理・更新、メルマガの配信

８．部会総会等の開催

(1) 2026 年度通常総会

2026 年度家族関係学セミナーのなかで開催する

(2) 部会役員会、各種役員会等

・役員会の開催（年２回）

・第 46 回家族関係学セミナー実行委員会（４回）

・部会誌編集委員会 10 回（メール会議）

・その他

９．その他

【資料２】

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会 2026 年度予算書（案）

<③家族関係学部会>2026年度予算書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

科　　目	注意	2026年度	2025年度	差異	備考
一般正味財産増減の部					
1.経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	(本部のみ)				
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息				
入会金					
年会費		770,000	770,000	0	一般会員0.5万円×150人＋学生会員0.2万円×10人
会誌購読料		32,340	32,340	0	定期購読14団体×0.231万円
大会等参加費		285,000	285,000	0	大会参加0.3万円×50名、懇親会費0.45万円×30名
広告料					
刊行物売上		2,000	2,000	0	
著者負担金					2020年度著者負担金廃止による
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)				
一般寄付金	活動全般に使ってよい寄付金				
特別寄付金	使途を限定した寄付金				
雑収入	普通預金利息	100	100	0	
②本部からの支部費	(支部のみ,選挙の為の通信費も含む)				
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)				
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)	40,000	80,000	▲ 40,000	2024年度実績ベース（約4万円）
経常収益計		1,129,440	1,169,440	▲ 40,000	
(2) 経常費用					
①事業費		1,298,000	1,118,000	180,000	
大会会場使用料		40,000	40,000	0	会場費
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)				
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	100,000	0	100,000	国際交流（日本への招へいに関する宿泊費と国内滞在費）
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	170,000	170,000	0	懇親会，弁当代，お菓子，文具，会合費等
大会印刷費					
大会研究発表要旨集作成費		75,000	75,000	0	紙ベースの配布前提
大会通信運搬費		30,000	30,000	0	例年通り
大会臨時雇賃金					
総会費					
セミナー・講演会等会場使用料					
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	120,000	120,000	0	外部講師2名として、講演7万円+交通費3万円+宿泊費2万円
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	60,000	60,000	0	実行委員会メンバー6名×1万円
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む				
セミナー・講演会等印刷費					
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費					
セミナー・講演会等通信運搬費					
セミナー・講演会等臨時雇賃金		48,000	48,000	0	学生アルバイト等
学会誌等関連印刷費		370,000	320,000	50,000	2024年度実績ベース（約37万円）
学会誌等関連通信費		10,000	30,000	▲ 20,000	2024年度実績ベース（1万円未満）
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	10,000	0	
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		150,000	120,000	30,000	J-stage登載費用：デジタル化・アップロード　2024年度実績ベース（約15万円）
研究補助費					
表彰費	奨励賞等				
関連学会等会費					
会議費	会議用のお菓子、お茶等				オンライン開催前提
広報費	ホームページ等	70,000	50,000	20,000	HP管理更新費・作業費、メルマガ、ニューズレター配信費、2024年度実績ベース（約7万円）
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000	10,000	0	（2024年度実績ベース　0円）
事務委託費		30,000	30,000	0	2024年度実績ベース（約3万円）
支払負担金	振込手数料	5,000	5,000	0	2024年度実績ベース（約0.5万円）
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費				
②管理費		120,000	75,000	45,000	
給料手当		20,000	20,000	0	年会費発送補助
福利厚生費					
旅費交通費	(本部のみ)				
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	70,000	30,000	40,000	2024年度実績ベース（約4万円），選挙対応
備品費					
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	15,000	10,000	5,000	2024年度実績ベース（約0.4万円），選挙対応
光熱水料費					
雑費	(本部のみ)				
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)				
地代	(本部のみ)				
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	15,000	15,000	0	2024年度実績ベース（約2万円）
修繕費					
減価償却費	(本部のみ)				
リース料					
事務所管理費					
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)				
③支部費					
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)				
活動助成費					
経常費用計		1,418,000	1,193,000	225,000	
当期経常増減額		▲ 288,560	▲ 23,560	▲ 265,000	
2．経常外増減の部					
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出なのでほぼ該当なし)				
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額					
当期一般正味財産増減額		▲ 288,560	▲ 23,560	▲ 265,000	
一般正味財産期首残高	(2025年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,546,323	3,546,323	0	
一般正味財産期末残高	(2026年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,257,763	3,522,763	▲ 265,000	

【資料３】

賛助会員の規約改正（案）について

現行の規約には、会員種別ごとの権利義務について記載がなく、賛助会員と正会員の年会費も同額であるため、違いが明確ではない。現在賛助会員としての入会を検討する団体があることから、（１）年会費についての現行の規約を改正するとともに、（２）ホームページの入会案内の金額を規約に準じて改定し、入会申込書に、賛助会員の権利義務を説明する一文を追加する。

（１）年会費

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会規約 新旧対照表

新	旧
第３条　会員及び会費 正会員は、原則として一般社団法人日本家政学会会員であり、かつ本会の目的に賛同し、本会の活動に参加する者とする。ただし、一般社団法人日本家政学会会員でない者の資格については、総会の議を経て、正会員とする。 2　会員の会費の年額は、正会員 5,000 円、学生会員 2,000 円とし、本会会計年度当初に納めることとする。ただし、２年分を前納することができる。 3　賛助会員は、本会の目的に賛同し、所定の会費を納める者とする。会費の年額は１口 5,000 円とし、1 口以上を納めることとする。 4　名誉会員は、本会に功労のあった年齢 75 歳以上の正会員で、役員の推薦により、委員会の議を経て、総会で承認された者とする。年会費は徴収しない。 [付　則] 1.　本会則は昭和 55 年６月６日から施行する。 2.　本会則は昭和 57 年６月 26 日から施行する。 3.　本会則は昭和 62 年 10 月 10 日から施行する。 4.　本会則は平成９年９月 27 日から施行する。 5.　本会則は平成 12 年 10 月 15 日から施行する。 6.　本会則は 2007 年 10 月 13 日から施行する。 7.　本会則は 2010 年 5 月 29 日から施行する。 8.　本会則は 2011 年 10 月 22 日から施行する。 9.　本会則は 2014 年 10 月 11 日から施行する。 10. 本会則は 2017 年４月１日から施行する。 11. 本会則は 2018 年 10 月 14 日から施行する。 12. 本会則は、2025 年 10 月 12 日より施行する。	第３条　会員及び会費 正会員は、原則として一般社団法人日本家政学会会員であり、かつ本会の目的に賛同し、本会の活動に参加する者とする。ただし、一般社団法人日本家政学会会員でない者の資格については、総会の議を経て、正会員とする。 2　会員の会費の年額は、正会員 5,000 円、学生会員 2,000 円とし、本会会計年度当初に納めることとする。ただし、２年分を前納することができる。 3　賛助会員は、本会の目的に賛同し、所定の会費を納める者とし、その会費は年間 5,000 円とする。 4　名誉会員は、本会に功労のあった年齢 75 歳以上の正会員で、役員の推薦により、委員会の議を経て、総会で承認された者とする。年会費は徴収しない。 [付　則] 1.　本会則は昭和 55 年６月６日から施行する。 2.　本会則は昭和 57 年６月 26 日から施行する。 3.　本会則は昭和 62 年 10 月 10 日から施行する。 4.　本会則は平成９年９月 27 日から施行する。 5.　本会則は平成 12 年 10 月 15 日から施行する。 6.　本会則は 2007 年 10 月 13 日から施行する。 7.　本会則は 2010 年 5 月 29 日から施行する。 8.　本会則は 2011 年 10 月 22 日から施行する。 9.　本会則は 2014 年 10 月 11 日から施行する。 10. 本会則は 2017 年４月１日から施行する。 11. 本会則は 2018 年 10 月 14 日から施行する。

（2）「入会案内」の賛助会員年会費の記載と「入会申込書」への説明文の追加について

① 入会案内に掲載する賛助会員の年会費

新	旧
正会員（5,000 円）　学生会員（2,000 円） 賛助会員（１口 5,000 円）	正会員（5,000 円）　学生会員（2,000 円） 賛助会員（5,000 円）

② 入会申込書に追加する賛助会員の説明

「賛助会員は、正会員・名誉会員と共同で実施した研究成果を発表する場合に限り、学術集会での発表者（筆頭発表者を含む）及び、部会誌への投稿者（筆頭著書を含む）となることができます。